

「民間放送ガバナンス指針」に基づく公表事項

静岡エフエム放送株式会社

1. 公共性の発揮

(1) 地域メディアとしての自社制作番組の充実

当社は、地域に密着した放送局として、自社制作番組ならびに生放送番組の充実に努めています。

- ◆全放送時間に対する自社制作番組の割合：58.6%
- ◆自社制作番組のうち生放送番組の割合：59.2%
- ◆主な自社制作番組（生放送番組）

番組名	放送時間	URL
K-MIX モーニング ラジラ	月～金 7:28～10:52	https://k-ix.co.jp/radzilla/
K-MIX GOOD-TIE!	月～木 11:30～14:55	https://k-mix.co.jp/good/
K-MIX MOVE ON	月～木 15:08～18:55	https://k-mix.co.jp/move/
K-MIX ROOTS RADIO	月～木 19:00～20:30	https://k-mix.co.jp/roots/
K-MIX Slow-City	金 11:30～13:50	https://k-mix.co.jp/slow/
K-MIX LIFE ! LIFE ! LIFE !	金 14:08～17:20	https://k-mix.co.jp/life/
PERKY SOUND FLASH	土 9:00～ 9:55	https://k-mix.co.jp/perky/
K-MIX らじコン	土 11:00～12:55	https://k-mix.co.jp/rc/

(2) メディアリテラシー向上をサポートする活動実績

当社では、地元根差す放送局としての認知度向上の一環として、学生・生徒・児童の「会社見学・職場体験」（放送スタジオの見学他）を受け入れています。

2. 人権尊重の徹底

(1) 静岡エフエム放送株式会社 人権方針

静岡エフエム放送株式会社 人権方針

静岡エフエム放送は、社会から信頼されるメディアであり続けるために、基本的人権ならびに法と秩序を尊重し、事業活動を展開していくための指針として「静岡エフエム放送株式会社 人権方針」を制定します。

1. 適用範囲

この方針は、当社のすべての役員および従業員に適用され、また当社のビジネスパートナー・ステークホルダーの皆様方にも、この方針へのご理解とご支持を期待します。

2. 多様性の尊重とあらゆる差別およびハラスメントの禁止

国籍・人種・民族・宗教・思想・性（性別・性的指向・性自認など）・年齢・職業・出身・居住地・社会的出自・妊娠・障がい・疾病・雇用形態、その他あらゆる状況を理由とする差別、パワーハラスメント・セクシャルハラスメント等の個人の尊厳と人格を損なうあらゆるハラスメント行為を認めません。

3. 提供コンテンツ・サービスにおける人権尊重

リスナーの皆様、ビジネスパートナー・ステークホルダーの皆様、地域住民の皆様方をはじめ、私たちの事業に関わるすべての人々の人権を尊重します。個人情報やプライバシーの保護には細心の注意を払い、厳重な管理を行います。提供するコンテンツやサービスにおいては、いかなる人権侵害も許さず、表現の自由を守るとともに、社会全体の人権意識の向上に尽力します。

4. 人権方針の周知・教育と救済に関する体制の整備

当社は、この方針に基づき、すべての役員および従業員が人権への理解を深め、人権を尊重し、人権侵害を引き起こさないための適切な周知・教育を行います。また、当社が人権に対して負の影響を引き起こし、あるいはこれに関与したことが明らかになった場合には、速やかにその人権被害の救済に取り組みます。当社の役員および従業員に対しては、差別やハラスメント行為等の人権侵害に対する通報を、社内窓口ならびに独立した社外窓口の複数を設置し、状況に応じて安心して相談できる体制を構築しています。通報者のプライバシー保護を最優先とし、匿名での相談にも適切に対応していきます。

(2) 取締役会での「人権尊重」に関する決議

2026年10月21日の取締役会において、人権尊重に関する「静岡エフエム放送株式会社 人権方針」を決議しています。

(3) 人権関連〔ハラスメント〕相談窓口（内部通報相談窓口を兼務）の設置状況

【相談および苦情処理窓口/責任者】 総務部長

3.法令や社会規範の遵守

(1) コーポレートガバナンス体制

当社のすべての役員および従業員、また当社のビジネスパートナー・ステークホルダーとの信頼関係と協力関係のもと、地上基幹放送事業者として社会から頼られるメディアであり続けるため、社会的な責任を果し、また公正かつ規律ある経営を行うため、取締役会、経営委員会、番組審議会、コンプライアンス委員会、内部通報相談窓口等によりコーポレートガバナンス体制を構築しております。

(2) コンプライアンス担当および相談窓口の設置

【コンプライアンス担当/相談窓口】 総務部長

(3) 内部通報担当および内部通報相談窓口の設置

【内部通報担当/相談窓口】 総務部長

(4) 放送倫理を徹底するための取り組み

「日本民間放送連盟 放送基準」に準拠した放送基準を運用しています。

4.透明性の向上

企業経営にかかわる諸情報の開示

企業理念	「地域に信頼を リスナーに感動を」
資本構成（2026年3月末現在）	資本金：1億円 発行済株式総数：120,000株
主要株主（2026年3月末現在）	1/10を超える議決権を有する者：スズキ(株)（議決権比率：19.9%）
株主総数（2026年3月末現在）	40名
役員構成（2026年6月末現在）	代表取締役社長 井熊 正浩 常務取締役 杉山 啓充 常務取締役 鈴木 正行 取締役 中田 卓也 [社外] ヤマハ(株) 取締役会長 取締役 丸山 晃司 [社外] 遠州鉄道(株) 代表取締役社長 取締役 齋藤 茂宏 [社外] 鈴与(株) 理事 取締役 川井 敏行 [社外] 静岡鉄道(株) 代表取締役社長 取締役 杉山 武靖 [社外] 静岡ガス(株) 取締役 取締役 玉越 義猛 [社外] スズキ(株) 常務役員 取締役 浅川 公彦 [社外] (株)テレビ静岡 専務取締役 取締役 池田 千晶 [社外] (株)中日新聞社 取締役 監査役 橋下 和弘 [社外] 浜松磐田信用金庫 常務理事 監査役 村松 奈緒美 [社外] 弁護士
役職員数（2026年3月末現在）	役員 13人 [男11人（85%）、女2人（15%）] 職員 35人 [男25人（71%）、女10人（29%）] * アルバイト社員および派遣社員を除く
番組審議会委員（2026年4月末現在）	委員長 木宮敬信 常葉大学 教育学部生涯学習学科 教授 副委員長 角田哲康 日本大学 国際関係学部 教授 委員 小野晃司 サゴーエンタプライズ(株) 代表取締役社長 委員 服部乃利子 静岡県地球温暖化防止活動推進センター センター長 委員 加藤裕治 静岡文化芸術大学 文化政策学部 学部長 教授 委員 土屋維子 (株)ツチヤコーポレーション 代表取締役社長
自社批評番組	「番組審議会」開催月の最終日曜日 6:59～7:00、24:59～25:00 なお「番組審議会」の議事録を当社オフィシャルサイト内に開示しています。 https://k-mix.co.jp/company/chamber
財務情報	「決算公告」を当社オフィシャルサイト内に開示しています。 https://k-mix.co.jp/company/settlement

5.適切な経営体制の確立

(1) 経営の監督体制

当社では、健全で透明性のある企業運営を確保するため、取締役会において経営目標の達成状況や経営課題、重要な経営事項について審議・決定を行い、経営全般に関わる情報を適宜報告・共

有し、適切な事業運営が行われるよう業務執行を監督しています。また、内部の利害関係にとらわれない社外役員（取締役・監査役）が独立した立場から経営を監視監督・助言・監査できる体制を継続維持し、ガバナンス機能の向上を図っております。万が一、ガバナンス不全が疑われる重大な事案が発生した際には、経営トップの責任のもと、必要な情報開示を行い、信頼回復に向けた施策を積極的に講じ、社会的な信頼確保に努めてまいります。

(2) 全役員（取締役・監査役）に占める社外役員の割合

76.9%（役員の総数 13 名、うち社外役員の人数 10 名）

当社の社外役員（取締役・監査役）は、それぞれの企業において経営的立場にあり、豊かな経営経験と高い識見から当社の経営に対して客観的な立場で意見をいただき、透明性の高い経営体制を維持しています。

以上